

にいがた労福協

ライフサポートセンター

No.62 2025年7月15日発行

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2

Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891

E-mail ni-rfk@bz04.plala.or.jp

URL <http://www.niigataken-rofukukyo.com/>

発行責任者 石本伸二

第48回 県労福協定時総会

～ 役員改選で女性理事が3名に ～

6月18日(水)新潟東映ホテルにおいて、県労福協第48回定時総会が開催され、会員団体・役職員の95名が参加しました。

冒頭牧野理事長より、取り巻く環境は厳しさを増しているが、県労福協はライフサポートセンター事業を柱に、行政や様々な団体とのネットワークを強化し、生活上の悩みや課題を抱えた人々への支援事業を一体となって進めていくとの挨拶がありました。(詳細は次項に掲載)

総会では、報告事項として2024年度の事業報告、2025年度事業計画、2025年度収支予算報告を行い、①新潟ろうきん福祉財団が取り組む高校奨学金給付事業に関する寄付の取り組みへの協力要請。②国際交流事業が終了することから「国際交流事業会計」については2026年度より「関連団体連携事業会計」に名称変更し、労福協の幅

広い用途で活用していくなどの活動が説明され、事業計画の補足意見として、中澤代議員(新潟ろうきん福祉財団)から、給付型高校奨学金制度への寄付の協力要請がありました。

審議議案としての第1号議案「2024年度の決算報告ならびに監査報告に関する件」、第2号議案「役員改選に関する件」については、全て満場一致で承認されました。

今総会は役員改選期であり、下記に記載した通り女性理事3名を含む19名の理事と3名の監事が選任されました。



新しい役員体制

第48回定時総会で新任の役員と退任された役員は以下の通りです。

【新任役員】(敬称略)

理事長	牧野 茂夫	連合新潟
副理事長	小林 俊夫	連合新潟
副理事長	山崎 雅彦	労働金庫
副理事長	小野塚 豊	こくみん共済 coop
専務理事	石本 伸二	労福協
理事	登坂 崇規	連合新潟
理事	飛田 博之	連合新潟
理事	渡邊 洋平	連合新潟(新任)
理事	桑原 典子	連合新潟
理事	鶴巻 洋介	労働金庫
理事	古市 健生	こくみん共済 coop
理事	眞田 守	退職者連合

理事	中川 亨	新潟ろうきん福祉財団
理事	馬場真由美	コープデリにいがた(新任)
理事	川原 隆哲	ワーカーズコープ
理事	那須野智広	全港湾(新任)
理事	小室千代子	下越地区労福協(新任)
理事	山田 浩之	県央地区労福協(新任)
理事	笹井 智規	柏崎地区労福協
監事	遠藤 大介	連合新潟
監事	長谷川建雄	労働金庫
監事	森山 真吾	こくみん共済 coop

【退任された役員のみなさん】(敬称略)

理事	藤田 隆則	連合新潟
理事	小林 佳代	県生協連
理事	高見 優	ささえあい生協
理事	山際 輝久	新潟地区労福協
理事	矢島 良彦	長岡地区労福協

牧野理事長挨拶要旨

私たちを取り巻く環境は、気候変動、紛争の長期化、自国至上主義の台頭、貧困・格差など、社会の分断と不安が続いている。国際情勢の緊迫化と世界経済の不確実性により、食料やエネルギー価格が高騰し、国民生活に深刻な影響を与えている。特にコメ不足と価格上昇は「令和のコメ騒動」と呼ばれ、社会的弱者に深刻な影響が出ている。

(公財)新潟ろうきん福祉財団が取り組む高校奨学金給付事業について、第151回理事会で更なる拡充が確認され、新潟県労福協として関係団体等への寄付の呼びかけを行うことにした。高校授業料は無償化されたものの、学費以外の費用(クラブ活動費、制服代、用具代、塾代、習い事など)がかかり、「体験格差」が生じている現状がある。ろうきん福祉財団は、2025年度から応募条件を見直し、募集枠を撤廃し、応募者

全員を採用する制度に改定した。この制度の持続可能性を確保するため、ろうきん口座からの自動引き落とし(口座振替)による定期的な寄付を基本に、継続的な財源確保への協力を呼びかけている。随時支援での寄付も受け付けている。

国際交流事業会計については、弁護士・会計士を含む検討チームの答申に基づき、2026年度より「関連団体連携事業会計」に名称変更し、労福協の幅広い用途でできるようにした。今後も、「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働き暮らせる持続可能な社会」を目指し、ライフサポートセンター事業を柱に、行政や様々な団体とのネットワークを強化し、生活上の悩みや課題を抱えた人々への支援事業を一体となって進めていく。

今総会では、5名の理事が退任される。労福協の運動を支えていただいた皆さんに、この場を借り感謝を申し上げる。

第48回定時総会 特別講演会

「学費と奨学金問題の現状と課題」

講師：奨学金問題対策全国会議事務局長・
せたがや市民法律事務所弁護士 岩重佳治氏

総会後の特別講演は、奨学金問題対策全国会議事務局長・せたがや市民法律事務所弁護士 岩重佳治氏にお願いしました。

これまで、労福協の活動の大きな柱として取り組んできた奨学金問題の現状と課題を専門家の立場から、詳細なデータや事例に基づいて説明をしていただきました。

日本の奨学金はまだ貸与型が中心であり、大学生の2人に1人は借金を背負って社会に出ていく。親や親せきに人的保証を頼むと、返済が困難になったときその親族に返済義務が及ぶことから機関保証に1本化するべきだ。今後は返済の負担軽減の方法や学費の値下げ、相談や救済などを皆さんと力を合わせて実現していきたいとの決意が述べられました。

改めて、奨学金問題の厳しい実態を聞き、改善の取り組みの必要性を痛感させられた講演でした。

なお、岩重氏の講演内容は、新潟県労福協TVで、YouTubeにアップしましたので、ぜひご視聴願います。



東部ブロック労福協 第16期福祉リーダー塾

6月12日(木)～13日(金)に、労福協運動の新たな創造をめざし、東部ブロック労福協第16期福祉リーダー塾が、静岡県三島市で開催されました。1都10県から塾生40名、講師スタッフ20名、計60名が参加、グループ討議を通じて県を超えた交流を深めました。



新潟県労福協からは、運営スタッフとして牧野理事長のほか、塾生として、連合新潟、労金、こくみん共済coop、労福協から各1名、計5名が出席しました。

新潟県労働金庫 第73回通常総会

6月25日(水) ANAクラウンプラザホテル新潟にて、新潟県労働金庫第73回通常総会が開催されました。

総会では、山崎理事長より「理事長就任以降全県の現場を回らせていただく中で、労働金庫が地域社会に期待され貢献する姿を実感することができた。勤労者一人ひとりに寄り添った“ろうきんらしい”相談・提案活動の実践が着実な利用につながっている。今後も、信頼され、愛される労働金庫をめざしていく。」との決意が述べられました。

議事では報告事項・決議事項の全てが確認・承認されました。



第96回新潟県中央メーデー

物価高に負けない賃上げ！

働く仲間が幸せになれる明るい未来を実現しよう！

4月26日(土)新潟市中央区・万代島多目的広場において県中央メーデーが約1,100人の参加で開催されました。

連合新潟の小林実行委員長は、『メーデーは「労働者の団結・主張の場」「働く仲間の祭典」であり、第96回目の今年は戦後80年の節目の年となる。「働くことを軸とする安心社会」の実現には社会が平和で安定していることが前提である。連合は平和の尊さ、戦争の悲惨さ、核兵器廃絶を訴え、平和運動を強化していく。そして、

誰もが安心して働き・暮らせる、当たり前の社会を取り戻す。「社会と未来を変えていく」ための行動を起こそう。』と呼びかけました。

集会後には、デモ行進を新潟駅前まで実施し、雇用確保や格差是正等をアピールしました。



第38回チャリティゴルフ大会

令和6年能登半島地震見舞金として「新潟県災害対策本部(新潟県の被災者)」に寄付

5月15日(木)、県労福協主催による第38回チャリティゴルフ大会が「フォレストカントリー倶楽部」で開催されました。

当日は、天候にも恵まれ、101名が参加し、実力をいかんなく発揮する方、思うようにスコアを伸ばせない方など、それぞれにプレーを楽しみながら交流を深め合うことができました。今年も開催ルールを前半9ホールによるハンディ戦とし、終了後の表彰式は行わず、18ホール終了時に個別で表彰を行う形態で開催しました。

参加者の厚意により集まったチャリティ金202,000円は、令和6年能登半島地震見舞金として「新潟県災害対策本部(新潟県の被災者)」への義援金口座に贈呈しました。

参加者の皆様のご協力にあたためて感謝申し上げます。

大会の上位入賞者(敬称略)

東コース優勝者	小野塚豊(こくみん共済coop)
西コース優勝者	小林俊夫(連合新潟)
東アウトベスグロ	江花和郎(連合新潟顧問)
東インベスグロ	近藤智広(コープデリにいがた)
西アウトベスグロ	梅津寿明(JEC連合)
西インベスグロ	城田克仁(フォレストCC)



東コース優勝：小野塚 豊氏 西コース優勝：小林 俊夫氏

2025年度 全国研究集会 in TOYAMA

地域が主役！あたたかな子どもたちの居場所を

6月6日(金)、中央労福協主催の2025年度全国研究集会が富山市芸術文化ホール「オーバード・ホール」において、ハイブリッド形式で開催されました。(新潟県から6名参加)

子どもたちがより輝いて自己を表現できる場所、安心して過ごせるあたたかな居場所を地域にいかに築いていくか、また、未来の日本社会を担う子どもたちが夢を抱きながら成長することができる地域社会のあるべき姿はどのようなものか、日々子供たちに寄り添う実践者たち

が、トークセッションを行いました。

「丁寧に話を聞く。」「誰でも受け入れられる居場所づくりが大切。」「出番を作る。発信をしていく。」などの実践からくるパネラーからの提言は、とても貴重なものでした。失敗してもくじけても認めることができる心の容量を増やすことも大切であり、今後も周りからのアプローチや助けてと言える社会をめざしてくとの方向性が確認されました。

なお、来年度は、北部ブロックの宮城県での開催予定となっています。



地区労福協からのたより



下越地区

新発田自主夜間中学校の開校と 記念シンポジウムの開催について

令和7年4月8日(火)、新発田市のイクネスしばたにて新発田自主夜間中学校が開校しました。新潟県では、公立夜間中学校も自主夜間中学校も設置されておらず、県内初の取り組みです。義務教育段階での学びが充分得られなかった経験を持つ生徒さんのための学校として、毎週火曜日18時から20時に開催し、6月末で10回目を迎えました。2020年の国勢調査によると、県内は義務教育未修了者の人数が国内で5番目に多い地域です。文部科学省では、

2016年に夜間中学校の設置を促進するための法律である義務教育機会確保法が制定施行されました。私達は、出来ることから始めようとの思いで「一般社団法人新潟県新発田市に夜間中学校をつくる会」を立ち上げたうえで開校しました。開校記念として新発田自主夜間中学校開校シンポジウムを計画しました。8月17日(日)新発田市生涯学習センターにて10時から開催します。皆様方からの多くのご参加をお待ちしております。



十日町地区

地域NPOの活動紹介 『NPO桂公園こどもランド』

『NPO桂公園こどもランド』は、十日町地域で子育て応援の活動を続け、地域内外の親子世代を始め、多くの方々から親しまれています。

毎年5月から11月の土日祝日にゴーカートや各種遊具、夏場には大型のビニールプールなど、子育て世代の親子で楽しめる催しを行っています。その他、フォトコンテストや10月の連休に特別イベント『桂公園こどもまつり』を開催して、多くの親子連れのお客で賑わっています。(写真は昨年10月13日開催の『桂公園こどもまつり』の様態です)

2022年には、ろうきん十日町支店推進委員会と協働で特別イベント『わくわく感謝祭』を開催して1,500人を超えるお客様が来場するなど大盛況でした。今年の10月12日(日)にも同様のイベントを開催する予定です。

十日町地域は少子高齢化に伴う人口減少が進んでいます。そのような状況下、子育て応援の活動を続ける『NPO桂公園こどもランド』は地域に元気を与える存在となっており、当地区労福協としても応援していきたいと考えています。



長岡地区

ケニアの子どもを支えよう！

5月18日(日)、長岡地区労福協が協力したアフリカの暮らしや文化について学び交流する「アフリカンフェスタ⑪」を開催。アオーレ長岡市民交流ホールに300名を超える市民が異国への情緒を楽しみました。

地球上の異なる地域で、数10キロの危険な道の子供たちを経て通学し、学校で学ぼうとする子供たちの姿を追ったドキュメンタリー映画上映、夏休みにタンザ

ニアでボランティア活動をきっかけにストリートチルドレンを支援するNGOを支援する高校生と、ケニアで子どもたちのあたりまえの毎日を支援するモヨ・チルドレン代表の佐藤さんの講演、ブラジル発祥の「ゲトカボエイラ」格闘舞、アフリカンドラムと和太鼓の響演、ハワイエではバザールと終日、アフリカー色的一天を過ごしました。

ケニアの物価高と円安の進行で、日本からの寄付を頼りとするNGOの運営が厳しくなっているとして、支援が呼びかけられています。

異国で頑張っている佐藤さんを励まし、私たちのできる範囲で支援を続けていこうと思います。

佐渡地区

6月27日(金)地区労福協第14回総会を開催しました。当日は新潟県労福協江口事務局長を来賓にお迎えし、県労福協が取り組んでいる各種活動のご報告などご挨拶をいただきました。総会では、2024年度の活動報告及び2025年度の活動計画を審議いただきました。

5月11日(日)フードバンクさとの配布会に参加しました。

米や食品の値上がりが日々報道され、どこのフードバンクも支援物資確保に大変苦勞しています。渡せる食品が限られていても「ありがたいです。」「助

かります。」と喜んで受け取ってくれる親御さんたち。

佐渡地区労福協がフードバンクの手伝いを始

めて4年目となり、延べ49回、149人もの方が労福協のボランティアとして参加協力いただきました。

しかし、まだまだこの活動を知らない人が大勢います。労福協活動の一つであることを知っていただき、あらたな協力者が増えるよう活動を継続していきます。



小千谷地区

去る6月24日(火)、小千谷地区労働者福祉協議会総会が開催されました。24年度の活動報告、会計報告の確認後、25年度の活動方針、予算案、役員体制、規約改定に関して承認をいただき、新年度の取り組みをスタートする事となりました。小千谷地区労福協では年に2回のセミナーを開催しています。一つは7月の平和活動+生活安心セミナー、もう一つは

10月のクリーン活動+ライフプランセミナーです。今年も例年通り、ろうきん小千谷支店様、こくみん共済coop中越支所様から多大なるご協力をいただきながら開催しますが、少しだけ新しい取り組みを取り入れる事になりました。それは小千谷市職員を講師とする出前講座とのタイアップです。これまで以上に多くの皆様の協力をいただきながら、これからのセミナーをより役立つ内容にカスタマイズ・ブラッシュアップしていきたいと思ひます。



ろうきん口座に指定

de **マイタ**

©タツノコプロ

キャンペーン

実施期間

2025年4月1日(火)～2025年12月30日(火)

※当選につきましてはお1人様期間中1回までとなります。※抽選は毎月実施し、当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。景品は登録のご住所へ当選の翌月に発送させていただきます。※抽選前に解約された場合、抽選の対象外となる場合があります。※キャンペーンについて詳しくは(ろうきん)へお問い合わせください。

抽選で

プレゼントが当たる!

給与振込

年金振込

口座振替

期間中、上記のいずれかの対象取引を
新規ご契約いただいた方の中から抽選で

(合計450名様)

毎月 **50** 名様に

QUOカード

2,000円分

プレゼント!





新潟ろうきん

(公財) 新潟ろうきん福祉財団
「県民・勤労者の福祉・文化向上に関する事業」

ろうきんチャリティ公演
太鼓芸能集団 鼓童
トーク&ライブ

開催日 : 2025年9月17日(水) 開場 17:30 開演 18:30

開催場所 : 村上市総合文化会館 大ホール

入場整理券 : お一人様(小学生以上) 1,000円

●事前に入場整理券の購入が必要となります(先着順)。

<入場整理券のご購入・お問い合わせ>

・新潟ろうきん村上支店、中条支店、新発田支店

料金の一部は村上市内の福祉団体等へ寄付いたします。



**核兵器は
いらない。**

**核兵器廃絶
1000万署名**

No More HIROSHIMA! No More NAGASAKI! No More HIBAKUSHA!

連合 原水禁 KAKKIN

ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ、ノーモアヒバクシャ。この訴えは、核兵器廃絶と恒久平和を願う被爆国・日本国民の心からの叫びです。しかし、核弾頭は未だに世界に約12,120発(2024年6月現在)も存在し、かつ使用可能な核弾頭は増加しており、核兵器の脅威から今なお人類は解放されていません。核兵器不拡散条約(NPT)とは、核兵器の開発、製造、保有を規制し、核兵器保有国の増加を防ぐことを主な目的とした条約であり、核兵器の不拡散、核軍縮の促進、原子力の平和利用をめざしています。

連合、原水禁、KAKKINは、5年に1度開催されるNPT再検討会議にあわせて、核兵器廃絶を求める署名活動を行い、世界で唯一の戦争被爆国である私たちの願いを、国連と日本政府に届けます。

核兵器廃絶と恒久平和の実現をめざして、「核兵器廃絶署名」へのご協力をお願いします。

「核兵器廃絶1000万署名」については

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/kizuna/kakuheiki/syomei/>

連合 核兵器廃絶

検索



日本労働組合総連合会新潟県連合会 (連合新潟)

下越地協・新潟地協・佐渡地協・県央地協・中越地協・柏崎地協・上越地協

<http://www.jtuc-rengo.jp/niigata/>



連合新潟

〒950-8558 新潟県新潟市中央区
新光町6-2 勤労福祉会館

こくみん共済 NEWS
1524Z023



今と未来の 保障設計 キャンペーン

公式キャラクター
ピットくん

2025年
6/1 ▶
7/31

期間中共済ショップにて
対象の共済に新規加入された方へ
クレラッププレゼント！

※在庫状況によっては、他のノベルティをお渡しする場合がございます。



※掲載の画像は
イメージです。

こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

新潟推進本部
(新潟県総合生活協同組合)

co-op
コープデリ

コープデリにいがた

ビジョン 2035

食べるしあわせ、自分らしい暮らし 「ともに」の力で、笑顔の明日を

私たちは、助け合いの心と協力の力が生み出す
「ともに」の力で未来をきりひらき、
誰ひとり取り残さない社会を創ります




コープデリにいがたの宅配事業

「つかうほど、じぶんらしく。」をブランドメッセージに、
コープデリ宅配は一人ひとりの毎日にたくさんのおいしさをお届けします。

くらしの助け合いの会

家事援助を中心として困ったときに、お互いのくらしを支え合い、助け合う有償の組合員活動です。※新潟市中心に活動しています。



ウィークリーコープ

週1回決まった曜日・時間帯にご自宅の玄関先まで、6,000品目以上の取扱アイテムから、ご注文いただいた食品や日用品をお届けする宅配サービスです。

夕食宅配

管理栄養士が監修した夕食用のお弁当を月曜から金曜の週3日から5日までお届けします。※お届け地域限定サービスです。



お問い合わせ

生活協同組合コープデリにいがた 総合企画室
〒950-1125 新潟市西区流通1丁目5番地3
TEL 025-260-3351 (月～金 9:00～17:30)

コープデリにいがた
ホームページ→
<https://niigata.coopdeli.coop/>



 **2025 国際協同組合年**

今後の日程

7月	14日(月)	県PS聖籠町支援調整会議 (聖籠町)
	16日(水)	糸魚川地区労福協ゴルフコンペ (糸魚川CC)
	17日(木)	夢咲Club総代会 (ハイブリッド)
	22日(火)	上越地区労福協総会 (直江津学びの交流館)
	23日(水)	県PS田上町支援調整会議 (田上町)
	24日(木)	新潟市PS第4回支援調整会議 (勤労福祉会館)
	25日(金)	新潟県退職者連合第33回定期大会 (東映ホテル)
	25日(金)~26日(土)	第12期にいがた福祉リーダー塾 (万代シルバーホテル)
	29日(火)	中央労福協幹事会 柏崎地区労福協総会 (柏崎産業文化会館)
	30日(水)	新潟県総合生協第71回通常総代会およびこくみん共済coop新潟推進本部第8回組合員代表者会議 (ANAクラウンプラザホテル) 県ライフサポートセンター相談員検証会議 (連合中越地協事務所)
8月	31日(木)	県PS弥彦村支援調整会議 (弥彦村)
	6日(水)	県労福協「平和活動・統一行動日」
	21日(木)	消費生活ネットワーク理事会 (こくみん共済coop新潟会館)
	22日(金)	県労福協153回理事会 (勤労福祉会館) 第14回監事会議 (勤労福祉会館)
	23日(土)	県央地区ワーク&ライフセミナー (三条市立大学)
	28日(木)	新潟市PS第5回支援調整会議 (勤労福祉会館)
	29日(金)	中央労福協第9回幹事会 (Web)
9月	3日(水)	東部ブロック ライフサポート経験交流 (長野県)
	25日(木)	地方労福協会議 (Web)

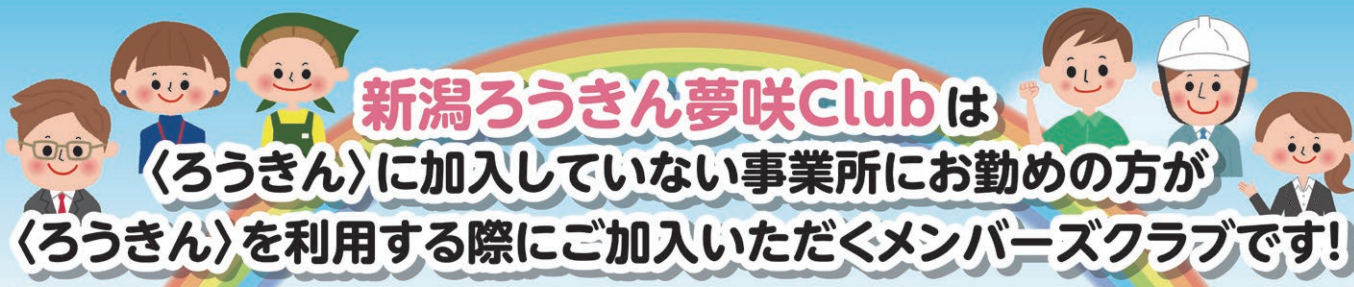
編集後記

「令和の百姓一揆」が全国で巻き起こった。新潟でも行われた。このままでは日本の農家が壊れてしまう。人がいなくなってしまう。農業が崩壊すれば食と命は守れない。食と農の大切さを消費者に知ってもらいたい、守らなければいけないという切実な思いから実施に至ったものだ。農家の時給は10円との話も驚きだ。

ただ一方で物価の高騰は私たちの生活を直撃している。実質賃金は上がっていない。この機関紙が配布される頃には、参議院選挙の結果が出ている頃だろう。このような課題が解決に向かうような、結果が出てほしいものだ。

今年も暑い夏がやってくる。労福協の平和行動として8月6日に1分間の黙祷を取り組む。県央地区労福協では被爆体験伝承者として活動している広島市の20代の女性を呼んで講話を聞くセミナーを開催する。若い人がどのように戦争を受け継いで、つないでいくのか是非聞いてみたいと思っている。

今年には敗戦80年。これまで以上に多くの方から平和行動への参加をお願いしたい。一人でも多くの人とともに、心を込めて平和への祈りを捧げたい。(新光町の疾風怒涛)



ご入会

新潟ろうきんの県内26店舗で入会手続きができます。
加入申込書は新潟ろうきんの全店舗に備え付けてあります。※入会金や会費は必要ありません

ご加入
いただける方

新潟ろうきんとお取引がある、あるいはお取引を予定されている方で、以下のいずれかの加入条件を満たす15歳以上の方となります。

- 1 新潟県内に居住または勤務する勤労者の方など
- 2 将来、新潟県内に居住または勤務する予定のある方

おもな活動と
会員サービス

- 会報誌「夢咲Club通信」の発行
- 暮らしに役立つイベントなどの開催
- 安心の無料相談ネットワーク(弁護士無料法律相談、健康ダイヤルなど)

ご加入は最寄りのろうきん本支店窓口へ。お問い合わせは新潟ろうきん夢咲Clubまで。

新潟ろうきん夢咲Club

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地38 新潟県労働金庫本店5階
TEL 025-201-8765 FAX 025-201-8755
<https://www.n-yume.jp> 新潟ろうきん夢咲Club 検索